

第6学年

臨床総合講義.....	215
-------------	-----

臨床総合講義

科目責任者：山崎 信也 (麻醉・教授)

科目担当者：各科目教員

1. 科目の概要

歯科医師国家試験の出題傾向および歯科医師国家試験出題基準を基に、出題項目を全て履修できるよう各科目の授業回数、授業内容を構成し、歯科医師国家試験の合格を目指す。実力試験の結果により、学生個々の能力に応じて履修させる指導体制をとる。

2. 一般目標

歯科医師国家試験に合格するために、国家試験出題基準全内容を理解して卒業できる学力を修得する。

3. 到達目標

- 1) 講義は全て出席し、内容の殆どを講義中に理解する。
- 2) 各講義終了後は7限目を利用して当日内に完全に理解する。
- 3) 実力試験や外部模擬試験を全て受験し、苦手箇所を克服する。
- 4) 実力試験では80点以上を獲得する。
- 5) 外部模擬試験では歯科医師国家試験合格圏内に入る。
- 6) 卒業試験では70点以上を獲得する。

4. 履修の進め方

講義は基礎、臨床を含む1日3科目6時間であり、曜日で科目がほぼ固定される。7限目は当日に講義された講師により、中央棟にてフィードバックを行う。実力試験において80%未満の学生は、土曜日に行われる確認試験受験を義務づける。

5. 履修の準備 (参考書)

当日の授業内容は当日のうちにすべて理解するよう、自習時間や7限目フィードバックを活用する。各試験後は速やかに問題と選択肢を理解し、次回、同系問題が確実に正解できるようにする。

6. 評価方法

- 1) 実力試験 (全6回：講義内容範囲を主とする)
 - 正当な理由のない1回の欠席につき、卒業試験結果から0.5点を減じる。
 - 目標：80点以上
 - 実施日：日程表参照
- 2) 確認試験 (実力試験や卒業試験の成績に応じて側近の土曜日に行う)
 - 正当な理由のない1回の欠席につき、卒業試験結果から0.5点を減じる。
 - 目標：90点以上
 - 実施日：日程表参照
- 3) 外部模試 (全7回：全範囲とする)
 - 正当な理由のない1回の欠席につき、卒業試験結果から0.5点を減じる。
 - 実施日：日程表参照
- 4) 卒業試験 (全3回：全範囲とする)
 - 受験資格：受験前週までの出席率が8割以上であること。
 - 実施日：日程表参照
- 5) 卒業判定
 - 朝礼、講義、フィードバックの合計コマ数の出席率が8割以上であること。
 - なおかつ、3回の卒業試験で平均70点以上を合格とする。

7. 授業内容と日程

●口腔解剖学

担当者：①宇佐美晶信 (解剖)、②齊藤 博 (解剖)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/12	解剖学総論	器官系	C-2/必6-ア	②
2	4/12	顔面・口腔	口腔の構造	E-2-2) / 必6-イ	①
3	4/26	歯の解剖①	歯の解剖(総論)	E-3-1) / 必6-ウ	〃
4	4/26	歯の解剖②	歯の解剖(各論)	E-3-1) / 必6-ウ	〃
5	5/17	骨学①	頭頸部の骨学1	E-2-1) / 必6-イ	〃
6	5/17	骨学②	頭頸部の骨学2	E-2-1) / 必6-イ	〃
7	5/31	筋学①	筋学総論, 各論1	E-2-1) / 必6-イ	〃
8	5/31	筋学②	筋学各論2	E-2-1) / 必6-イ	〃
9	6/21	筋学③	筋膜隙	E-2-1) / 必6-イ	〃
10	6/21	脈管学	頭頸部の脈管	E-2-1) / 必6-イ	〃
11	7/12	神経学①	神経学総論, 脳神経1	C-2-3) / 必6-イ	〃
12	7/12	神経学②	脳神経2, 脊髄神経	C-2-3) / 必6-イ	〃
13	8/23	神経学③	神経節	C-2-3) / 総III-2-キ	〃
14	8/23	口腔内臓学	唾液腺	E-2-2) / 総IV-2-ア〜ケ	〃
15	9/6	顎関節	顎関節の構造	E-2-1) -⑤ / 必6-イ	〃
16	9/6	フィードバック①	演習問題, 解説	E-2-1) / 必6-イ, ウ	〃
17	9/20	嚥下関連の解剖	咽頭, 喉頭の解剖	E-2-1) / 総IV-2-ア〜シ	〃
18	9/20	フィードバック②	演習問題, 解説	E-2-1) / 総IV-1-ア〜カ, IV-2-ア〜シ	②
19	10/4	歯の異常, 歯列咬合	歯の異常, 歯列・咬合	E-3-1) / 総IV-3-イ, IV-4-ア, イ	①
20	10/4	加齢変化	成長・発育, 加齢変化	C-2-4) / 必7-エ, 総V-6-ア	〃
21	10/18	フィードバック③	実力確認試験まとめ1	E-2-1) / 総III-2-ア〜ケ	〃
22	10/18	フィードバック④	実力確認試験まとめ2	E-2-1) / 総III-2-ア〜ケ	〃
23	11/15	局所解剖学	頭頸部の局所解剖学	E-2-1) / 総III-2-ア〜ケ	〃
24	11/15	フィードバック⑤	頭頸部の解剖 フィードバック	E-2-1) / 総IV-1-ア〜カ, IV-2-ア〜シ	〃
25	12/6	フィードバック⑥	必修まとめ1	E-2-1) / 必6-イ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
26	12/6	フィードバック⑦	必修まとめ2	E-2-1) / 必6-ア, 6-イ	①
27	12/20	歯の解剖③	歯の解剖まとめ	E-3-1) / 必6-ウ	〃
28	12/20	フィードバック⑧	頭頸部の解剖まとめ	E-2-1) / 総Ⅲ-2-ア～ケ	〃

●口腔組織学

担当者：①渡邊 弘樹 (組織), ②安部 仁晴 (組織)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/19	エナメル質	エナメル質の基本構造と組織学的特徴	／必-6-ウ-c 総Ⅳ-4-ウ	①
2	4/19	象牙質・歯髄複合体(1)	象牙質の基本構造と組織学的特徴	／必-6-ウ-c 総Ⅳ-4-エ	〃
3	5/10	象牙質・歯髄複合体(2)	歯髄の基本構造と組織学的特徴	／必-6-ウ-c 総Ⅳ-4-エ	〃
4	5/10	歯周組織(1)	セメント質の基本構造と組織学的特徴	／必-6-ウ-d 総Ⅳ-4-オ	②
5	5/24	歯周組織(2)	歯根膜の基本構造と組織学的特徴	／必-6-ウ-d 総Ⅳ-4-キ	〃
6	5/24	歯周組織(3)	歯肉の組織学的特徴, 歯槽骨の基本構造	／必-6-ウ-d 総Ⅳ-4-カ, ケ	〃
7	6/7	細胞の構造と機能(1)	核の構造, 遺伝情報, 細胞小器官の構造と機能	／必-6-ア-a, b 総Ⅲ-1-イ, エ	①
8	6/7	細胞の構造と機能(2)	細胞膜, 細胞骨格および細胞接着装置	／必-6-ア-b 総Ⅲ-1-イ	〃
9	6/28	人体の正常構造(1)	上皮, 結合組織の構造と組織学的特徴	／必-6-ア-c 総Ⅲ-1-オ, カ	〃
10	6/28	人体の正常構造(2)	軟骨, 筋組織の構造と組織学的特徴	／必-6-ア-c 総Ⅲ-1-カ, キ	②
11	7/19	人体の正常構造(3)	骨組織の構造と組織学的特徴, 骨の発生	／必-6-ア-c 総Ⅲ-1-カ V -3-クケ	①
12	7/19	人体の正常構造(4)	神経組織の構造と組織学的特徴	／必-6-ア-c 総Ⅲ-1-カキ V-3クケ	〃
13	8/30	初期発生	生殖と胚発生, 鰓弓から形成される組織	／総 V-1-ア, イ, ウ	〃
14	8/30	顔面の発生	顔面, 顎, 口蓋の発生	／総 V-3-ア, イ	〃
15	9/13	口腔周囲器官の発生	舌, 唾液腺, 甲状腺, 下垂体, 顎関節の発生	／総 V-3-ウ, エ, オ	〃
16	9/13	歯の発生(1)	歯胚の形成	／必-7-イ-a 総 V-3-カ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
17	9/27	歯の発生(2)	歯根の形成, 歯周組織の発生	／必-7-イ-a 総 V-3-カ, キ	①
18	9/27	歯の発生(3)	各細胞の分化, エナメル質と象牙質の石灰化	／必-7-イ-a 総 V-3-カ, コ	〃
19	10/11	口腔周囲器官(1)	唾液腺の組織学的特徴	／必-6-イ-a 総Ⅳ-2-カ, -3-ソ	②
20	10/11	口腔周囲器官(2)	舌, 扁桃, 口腔粘膜の組織学的特徴	／必-6-イ-a 総Ⅳ-2-ウエ オキケ	〃
21	11/1	口腔周囲器官(3)	顎関節の組織学的特徴	／必-6-イ-h 総Ⅳ-2-シ V -3-オ	①
22	11/1	人体の正常構造(5)	神経終末と血管	／必-6-ア-c 総Ⅲ-1-カ, ク	〃
23	11/29	人体の正常構造(6)	血液の組織学的特徴, 角化重層扁平上皮の構造	／必-6-ア-c 総Ⅲ-1-オカ -3-ア	②
24	11/29	加齢変化	加齢による歯, 口腔, 顎顔面の変化	／必-7-ウ-a ～d, fIj 総 V-6-ア	〃
25	12/13	歯と歯周組織	歯と歯周組織の組織学的特徴	／必-6-ウ-c, d 総Ⅳ4ウ～キ, ケ	〃
26	12/13	口腔周囲器官	口腔周囲器官の組織学的特徴	／必-6-イ-a 総Ⅳ-2-エ, カ	〃
27	12/27	発生学のまとめ	胚発生および歯を含む口腔の発生の総まとめ	／必-7イ a 総 V-1ア～ ウ-3ア～コ	①
28	12/27	組織学のまとめ	各器官系の特徴および発生の総まとめ	／必-6ア e 総Ⅲ-2アケ V-3アキ	〃

●口腔感染免疫学

担当者：①清浦 有祐 (感染)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/13	微生物学概論	微生物の種類とその特性	C3-1)-①/ 総 VI-6-イ	①
2	4/13	細菌の病原因子	細菌の持つ病原因子について	C3-1)-②/ 総 VI-6-エ	〃
3	5/11	細菌の毒素	細菌の内毒素と外毒素	C3-1)-②/ 総 VI-6-エ	〃
4	5/11	細菌感染症	感染症の種類とその原因菌	C3-1)-②/ 総 VI-6-エ	〃
5	5/25	ウイルスの構造と種類	ウイルスの構造の特徴	C3-1)-①/ 総 VI-6-イ	〃
6	5/25	ウイルス感染症	感染症の種類とその原因ウイルス	C3-1)-②, ⑤, ⑥ / 総 VI-6- エ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
7	6/8	真菌感染症	感染症の種類とその原因菌	C3-1)-②, ⑤, ⑥/総VI-6-エ	①
8	6/8	感染の種類	微生物感染の種類とそのメカニズム	C3-1)-②, ⑤, ⑥/総VI-6-エ	〃
9	6/29	再興感染症と新興感染症	感染症の種類と原因微生物	C3-1)-⑤/総VI-6-エ	〃
10	6/29	滅菌と消毒	その種類とその特性	C3-1)-③/必15-ク-a	〃
11	7/13	自然免疫	特性とその作用メカニズム	C3-2)-①, ③/総III-3-ウ	〃
12	7/13	獲得免疫	特性とその作用メカニズム	C3-2)-①, ②, ③/総III-3-エ	〃
13	8/24	抗原	抗原の定義とその種類	C3-2)-①, ②, ③/総III-3-エ	〃
14	8/24	抗体	抗体の種類とその特性	C3-2)-②/総III-3-エ	〃
15	9/14	免疫担当細胞 I	免疫担当細胞の種類	C3-2)-③/総III-3-ア	〃
16	9/14	免疫担当細胞 II	免疫担当細胞の特性	C3-2)-③/総III-3-ア	〃
17	10/5	サイトカイン I	サイトカインの種類	C3-2)-①, ②, ③/総III-3-ウ, エ	〃
18	10/5	サイトカイン II	サイトカインの機能	C3-2)-①, ②, ③/総III-3-ウ, エ	〃
19	10/19	アレルギー I	アレルギーの種類	C3-2)-⑤, ⑥/総VI-6-キ	〃
20	10/19	アレルギー II	アレルギーの発症メカニズム	C3-2)-⑤, ⑥/総VI-6-キ	〃
21	11/2	自己免疫疾患	自己免疫疾患の種類とその発症メカニズム	C3-2)-④, ⑥/総VI-6-カ	〃
22	11/2	免疫寛容	免疫寛容のメカニズム	C3-2)-④/総III-3-イ	〃
23	11/16	ワクチン	ワクチンの種類とその役割	C3-2)-⑤, ⑥/総VI-6-エ	〃
24	11/16	口腔細菌	口腔細菌の種類	C3-1)-①/各I1-ア	〃
25	12/14	齶蝕原性細菌	原因菌の種類とそのメカニズム	C3-1)-①/各I1-ア	〃
26	12/14	歯周病原性細菌 I	病原性細菌の種類	C3-1)-①/各I2-ア	〃
27	12/28	歯周病原性細菌 II	病原性細菌の病原性	C3-1)-①/各I2-ア	〃
28	12/28	口腔内のウイルス	ウイルスの種類とその病原性	C3-1)-①/総VI-6-イ	〃

●口腔病理学

担当者：①伊東 博司 (病理), ②櫻井 裕子 (病理), ③遊佐 淳子 (病理)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/18	病理学総論 その1	炎症, 循環障害	/必14-ア-d, h	②
2	〃	〃	〃	〃	〃
3	5/9	嚢胞その1	嚢胞	/必14-ア-f, 14-イ-k	〃
4	〃	〃	〃	〃	〃
5	5/23	口腔領域の腫瘍その1	腫瘍, 腫瘍類似疾患	/必14-ア-g, 14-イ-l	③
6	〃	〃	〃	〃	〃
7	6/2	口腔領域の腫瘍その2	腫瘍, 腫瘍類似疾患	/必14-ア-g, 14-イ-l	〃
8	〃	〃	〃	〃	〃
9	6/20	口腔粘膜疾患その1	口腔粘膜疾患	/必9-ウ-a, 9-ウ-d~f	〃
10	〃	〃	〃	〃	〃
11	7/11	唾液腺疾患その1	唾液腺疾患	/必14-イ-o	②
12	〃	〃	〃	〃	〃
13	7/25	病理学総論 その2	代謝障害, 細胞死, 先天異常, 腫瘍	/必14-ア-b, g, i	①
14	〃	病理検査その1	細胞診	/必11-カ-a, b	〃
15	8/29	口腔領域の腫瘍その3	歯原性腫瘍, 口腔癌	/総VI-11-キ	〃
16	〃	〃	〃	〃	〃
17	9/12	唾液腺疾患その2	唾液腺の非腫瘍性疾患と唾液腺腫瘍	/総VI-11-エ	〃
18	〃	〃	〃	〃	〃
19	9/26	病理検査その2	組織診	/総VI-11-ウ, ケ	〃
20	〃	口腔粘膜疾患その2	口腔粘膜の疾患, 口腔領域に症状を伴う全身疾患	/総IX-3-キ	〃
21	10/10	口腔粘膜疾患その3	皮膚科的疾患	/各IV-6-ア~ユ	〃
22	〃	〃	〃	〃	〃
23	10/31	骨疾患	顎骨骨髄炎, 顎骨腫瘍, 顎骨に異常を来す疾患	/各IV-9, 11, 15	〃
24	〃	〃	〃	〃	〃
25	11/28	嚢胞その2	軟組織の嚢胞, 顎骨の嚢胞	/各IV-4, 10	〃
26	〃	唾液腺疾患その3	炎症性疾患	/各IV-12	〃
27	12/12	口腔領域の腫瘍その4	軟組織の腫瘍, 顎骨の腫瘍, 腫瘍類似疾患	/各IV-5, 11	〃
28	〃	〃	〃	〃	〃

●歯科薬理学

担当者：①鈴木 恵子 (薬理), ②鈴木 礼子 (薬理),
③長岡 正博 (薬理)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/11	薬理学総論1	薬理作用の基本形式, 薬物療法	／必15-イ, ヒ 総X-9-ア, イ	①
2	4/25	薬理学総論2	薬物の作用機序(受容体, 酵素阻害)	／必15-ヒ, 総X-9-オ	〃
3	5/16	薬理学総論3	薬物の適用方法, 薬物動態	／必15-ヒ, 総X-9-ウ, エ	〃
4	5/30	薬理学総論4	用量反応曲線, 薬物の併用と相互作用	／必15-ヒ, 総X-9-エ, キ, カ	〃
5	6/13	薬理学各論1	全身麻酔薬, 抗精神病薬, 抗うつ薬, 抗てんかん薬	／総X-6-エ, X-9-オ	〃
6	6/27	薬理学各論2	自律神経系作用薬と拮抗薬	／総X-6-オ, 総X-9-オ	〃
7	7/18	薬理学各論3	体性神経系作用薬と拮抗薬	／必15-コ, 総X-6-イオ, 総X-9-オ	〃
8	8/22	薬理学各論4	循環器, 呼吸器, 消化器治療薬の分類と作用機序	／総X-9-オ	〃
9	9/5	薬理学各論5	鎮痛薬, 抗炎症薬の分類と作用機序	／総X-9-サ シ	③
10	9/19	薬理学各論6	抗感染薬の分類と作用機序	／必9-エ, 総X-9-ス	〃
11	10/3	薬理学各論7	止血・抗血栓薬, 代謝改善薬の分類と作用機序	／総X-9-セ, ソ, タ	①
12	10/17	薬理学総論5	薬物の副作用と有害反応, 薬害	／必4-オ, 15-ヒ-i, 総 X-9-ケ	②
13	11/14	薬理学総論6	医薬品医療機器等法, 医薬品開発, 使用上の注意	／必2, 5, 15, 総X-9-ク, コ, ツ, テ	①
14	12/5	薬理学(まとめ)	代表的な薬物の分類と作用機序	／総X-9-オ	〃

●口腔生理学

担当者：①川合 宏仁 (生理), ②大須賀謙二 (生理),
③古山 昭 (生理)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/14	循環	心臓, 血管とその調節	／必6-ア-e	①
2	5/12	呼吸	呼吸器とその調節	／必6-ア-e	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
3	6/2	自律神経	交感神経と副交感神経の働き	／必6-ア-e, 6-イ-a, 6-イ-c	②
4	6/16	内分泌	ホルモンの産生, 分泌, 働き	／必6-ア-e	〃
5	6/30	神経と筋	興奮性細胞の基礎知識	／必6-ア-c	③
6	7/14	顎反射	顎反射に関わる神経・筋のまとめ	／必6-ア-c, 6-イ-b	〃
7	7/28	口腔体性感覚	口腔粘膜の体性感覚, 味覚	／必6-イ-b, 総Ⅲ-2-ク	〃
8	9/1	唾液	唾液分泌調節のメカニズム	／総Ⅲ-2-カ	②
9	9/22	反射復習	摂食嚥下に関する生理学的問題対策	／必6-イ-b, 総Ⅲ-2-キ	③
10	10/13	筋の生理	骨格筋と心筋の頻出問題対策	／総Ⅲ-1-キ, 総Ⅲ-2-エ	〃
11	10/27	発生と構音	発生・構音のメカニズム要点	／総Ⅳ-3-コ	②
12	11/17	自律機能要点①	循環・呼吸の調節, 頻出項目おさらい	／必6-ア-e	①
13	12/1	自律機能要点②	内分泌・消化, 頻出項目おさらい	／必6-ア-e	②
14	12/22	興奮性組織要点	神経・筋基礎項目の国家試験対策	／必6-ア-c, 総Ⅲ-1-キ, 総Ⅲ-1-ク	③

●口腔生化学

担当者：①加藤 靖正 (生化)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/13	細胞外マトリックス(1)	コラーゲン, 接着性糖蛋白質	／必6-ア, 総Ⅲ-1	①
2	5/11	細胞外マトリックス(2)	インテグリン, グリコサミノグリカン, プロテオグリカン	／必6-ア, 総Ⅲ-1	〃
3	5/18	唾液・ペリクル・プラーク・血漿蛋白質(1)	唾液蛋白質の機能	／必6-イ, 必6-エ, 総 Ⅳ-3	〃
4	6/8	唾液・ペリクル・プラーク・血漿蛋白質(2)	菌体外多糖, プラーク, 糖代謝	／必6-イ, 必6-エ, 総 Ⅳ-3	〃
5	6/29	骨のリモデリングと血清カルシウム(1)	石灰化, 骨吸収, 軟骨内骨化	／必6-ア, 総Ⅲ-1, 総 Ⅴ-3	〃
6	7/13	骨のリモデリングと血清カルシウム(2)	血清カルシウム濃度の調節機構, 慢性腎不全	／必6-ア, 総Ⅲ-2, 総 Ⅳ-4	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
7	8/24	核酸	核酸, DNA複製, セントラルドグマ	／必6-ア, 総Ⅲ-1	①
8	9/14	遺伝子と遺伝	DNAの修復機構, 遺伝子工学	／必6-ア, 総Ⅲ-1	〃
9	10/5	細胞の老化とアポトーシス, 細胞周期の制御	テロメラーゼ, カスパーゼ, アポトーシス, p53, RB	／必16-ア, 総Ⅲ-1, 総Ⅴ-1, 総Ⅵ-2	〃
10	10/19	癌	癌の特性, 発癌機構, 癌遺伝子, 癌抑制遺伝子	／総Ⅵ-7	〃
11	11/2	メタボリックシンドローム	摂食ホルモン, 動脈硬化, 痛風, 糖尿病	／必3-ア	〃
12	11/16	まとめ・演習1	遺伝子, 細胞内小器官の機能, 生体の構成成分	／必6-ア	〃
13	12/14	まとめ・演習2	生体を構成する基本物質, 細胞間情報伝達機構, 遺伝子	／総Ⅲ-ア	〃
14	12/28	まとめ・演習3	軟骨内骨化, 骨のリモデリング, 血清カルシウム濃度調節	／必6-ア, 総Ⅲ-, 総Ⅲ-2, 総Ⅴ-3	〃

●生体材料・歯科材料学

担当者：①岡田 英俊 (材料), ②石田 喜紀 (材料)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/6	歯冠材料	歯冠材料の性質と成形	D-2/総Ⅺ-8, -11	②
2	4/20	成形修復材	成形修復材の特性と接着性	D-2/総Ⅺ-7	①
3	5/18	歯科材料の基本事項	歯科材料の分類と特性	D-1/総Ⅺ-1, -16	〃
4	6/1	歯科材料の基本事項(2)	歯科材料の分類と特性	D-1/総Ⅺ-1, -16	〃
5	6/22	金属材料	金属材料の特性	D-2/総Ⅺ-8	②
6	7/6	金属の成形技術	鋳造関連材料の特性	D-2/総Ⅺ-12	〃
7	7/20	金属の成形技術(2)	鋳造欠陥	D-2/総Ⅺ-12	〃
8	8/31	合着用材料	合着材の成分と特性	D-2/総Ⅺ-13, -14	①
9	9/21	印象材・模型材	印象材・模型材の成分と特性	D-2/総Ⅺ-4, -5	〃
10	10/12	義歯用材料	義歯材料の成分, 特性, 成形法	D-2/総Ⅺ-9	②
11	10/26	インプラント材料・矯正用材料	インプラント・矯正用材料の特性	D-2/総Ⅺ-15, -16	①

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
12	11/9	診療用器械・歯内療法用材料	診療用器械・歯内療法用材料の特性	D-2/総Ⅺ-2, -7	②
13	11/30	総合講義1	生体材料・歯科材料のまとめ	D-2/総Ⅺ-1~16	①
14	12/21	総合講義2	生体材料・歯科材料のまとめ	D-2/総Ⅺ-1~16	〃

●口腔衛生学/社会歯科学

担当者：①廣瀬 公治 (衛生), ②大橋 明石 (衛生)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/7	衛生概要	疾病の自然史, PHCとHP, 健康日本21(第二次), 国際保健協力	B-1/必3-ア, 総Ⅰ-1	①
2	4/7	疫学	疫学概念, 要因, バイアス, 交絡因子	B-4/総Ⅱ-10	〃
3	4/14	疫学	記述疫学, 分析疫学	B-4/総Ⅱ-10	〃
4	4/14	疫学	症例対照研究, オッズ比	B-4/総Ⅱ-10	〃
5	4/21	疫学	コホート研究, 寄与・相対危険	B-4/総Ⅱ-10	〃
6	4/21	疫学	介入研究, RCT, 臨床試験	B-4/総Ⅱ-10	〃
7	5/12	疫学	EBM (メタアナリシス),	B-4/総Ⅱ-10	〃
8	5/12	疫学	スクリーニングテスト	B-4/総Ⅱ-10	〃
9	5/19	疫学	スクリーニングテスト	B-4/総Ⅱ-10	〃
10	5/19	疫学	尺度と統計検定の概要	B-4/総Ⅱ-10	〃
11	6/6	病理と交換	歯科疫学指標 (DMF, 齲蝕抑制率)	B-4/総Ⅱ-10	②
12	6/6	病理と交換	歯科疫学指標 (OHI, CPI)	B-4/総Ⅱ-10	〃
13	6/9	疾病の予防	感染症の予防 (法律)	B-2-2/総Ⅱ-11	①
14	6/9	疾病の予防	感染症の予防, 生活習慣病の予防	B-2-2/総Ⅱ-11	〃
15	6/16	環境衛生	公害	B-2-4/総Ⅱ-13	〃
16	6/16	環境衛生	地球環境保全対策, 条約	B-2-4/総Ⅱ-13	〃
17	6/23	環境衛生	温熱・水・大気の衛生, 廃棄物処理法	B-2-4/総Ⅱ-13	〃
18	6/23	食品衛生	日本人の食事摂取基準	B-3-2/必3-ク, 総Ⅱ-12	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
19	6/30	食品衛生	食中毒	B-3-2) / 必3-ク, 総II-12	①
20	6/30	人口問題	人口静態, 人口動態	B-4-2) / 総II-9	〃
21	7/7	人口問題	我が国の人口推移	B-4-2) / 総II-9	〃
22	7/7	保健統計	歯科疾患実態調査, 主な保健統計の概要	B-4-2) / 総II-10	②
23	7/14	歯科医療と法	法令の種類, 刑法, 民事・刑事訴訟	B-2-1) / 必4-エ	①
24	7/14	歯科医療と法	歯科医師法	B-2-1) / 必II-ウ	〃
25	7/21	歯科医療と法	歯科衛生士法, 歯科技工士法, 薬剤師法, 医師法	B-2-1) / 必II-ウ	〃
26	7/21	歯科医療と法	関連職種法と業務, 医療法	B-2-1) / 必II-ウ	〃
27	7/28	歯科医療と法	医療法, 歯科口腔保健法	B-2-1) / 必II-ウ, 必II-エ	〃
28	7/28	国民医療費	国民医療費とその動向	B-2-2) / 総I-6	〃
29	8/25	社会保障	憲法, 社会保障概要, 社会保険の仕組み	B-2-2) / 総I-6	〃
30	8/25	社会保障	医療保険(国保, 被用者保険)	B-2-2) / 総I-6	〃
31	9/1	社会保障	医療保険(後期高齢者医療制度)	B-2-2) / 総I-6	〃
32	9/1	社会保障	介護保険制度	B-2-2) / 必3-カ	〃
33	9/15	社会保障	介護保険制度, 介護予防	B-2-2) / 必3-カ	〃
34	9/15	社会保障	年金, 生活保護	B-2-2) / 必16-オ	〃
35	9/22	社会保障	社会福祉制度, 所得保障	B-2-2) / 必16-オ	〃
36	9/22	地域ケア	地域連携クリティカルパス, 地域包括ケアシステム	B-2-2) / 必16-イ	〃
37	10/6	口腔環境と口腔疾患	唾液, プラークの形成	B-3-2) / 各I-1	〃
38	10/6	口腔環境と口腔疾患	プラークの形成, 歯石形成, 歯への色素沈着	B-3-2) / 各I-1	〃
39	10/13	口腔環境と口腔疾患	齲蝕と歯周病, 齲蝕活動性試験	B-3-2) / 各I-1, 2	〃
40	10/13	口腔環境と口腔疾患	歯磨剤, 口臭予防, 口腔ケア	B-3-2) / 各I-4, 6	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
41	10/20	口腔環境と口腔疾患	ブラッシング法	B-3-2) / 各I-6	②
42	10/20	齲蝕の予防	フッ化物の生体内消長, 中毒(計算)	B-3-2) / 各I-1	①
43	10/27	齲蝕の予防	フッ化物の齲蝕予防機序	B-3-2) / 各I-1	②
44	10/27	齲蝕の予防	フッ化物応用法と術式	B-3-2) / 各I-1	〃
45	11/10	齲蝕の予防	フッ化物に関する計算問題	B-3-2) / 各I-1	〃
46	11/10	齲蝕の予防	ステファンカーブ, 代用甘味料, 潜在脱灰能	B-3-2) / 各I-1	〃
47	11/17	地域保健	地域保健法(保健所, 保健センター), 健康増進法	B-2-2) / 必3-イ	①
48	11/17	地域保健	母子保健(用語, 保健状況), 母子歯科保健	B-2-2) / 総II-2	〃
49	11/24	地域保健	母子歯科保健, 学校保健	B-2-2) / 総II-2, 3	〃
50	11/24	地域保健	学校歯科保健	B-2-2) / 総II-3	〃
51	12/1	地域保健	学校歯科健康診断	B-2-2) / 総II-3	〃
52	12/1	地域保健	成人・老人保健, 健康増進法事業	B-2-2) / 総II-5, 6	〃
53	12/15	地域保健	産業保健, 労働衛生管理	B-2-2) / 総II-4	〃
54	12/15	地域保健	職業性歯の酸蝕症, 労災保険	B-2-2) / 総II-4	〃
55	12/22	地域保健	精神保健	B-2-2) / 総II-7	〃
56	12/22	国際保健	国際保健協力	総I-7	〃

●医療倫理学

担当者: ①車田 文雄(衛生)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/17	医の倫理1	ヒポクラテスの誓い, ジュネーブ宣言等	A-2①② / 必1-ア-b	①
2	5/8	医の倫理2	ニュルンベルク綱領, ヘルシンキ宣言	A-2①② / 必1-ア-abc, 2-オ-a	〃
3	5/29	医の倫理3	リスボン宣言	A-2①② / 必1-ア-abc, 2-オ-a	〃
4	6/12	生命倫理1	生と死に関わる問題, バイオエシックスの4原則	A-2①② / 必1-ア-abc, 2-オ-a	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
5	6/26	生命倫理2	死に関する宣言(シドニー宣言), 臓器移植	A-2①②/ 必1-ア-abc, 2-オ-a	①
6	7/10	患者中心の歯科医療1	インフォームドコンセント	A-3-①②③, A-4-①/必 1-イ-abc	〃
7	8/21	患者中心の歯科医療2	患者の権利と義務	A-3-①②③, A-4-①/必 1-イ-abc	〃
8	9/4	医療面接1	意義と目的, 患者-歯科医師関係の確立	A-3-④, A-4-①②/ 必8-ア-abc	〃
9	9/25	医療面接2	医療面接のマナー, 基本技術と知識	A-3-④, A-4-①②/ 必8-ア-abc	〃
10	10/16	医療面接3	言語的コミュニケーション	B-2-2)-①② ③⑥/必8- イ-a~f, ウ-a ~f	〃
11	10/30	医療面接4	準言語的コミュニケーション	B-2-2)-①② ③⑥/必8- イ-a~f, ウ-a ~f	〃
12	11/13	医療面接5	非言語的コミュニケーション	B-2-2)-①② ③⑥/必8- イ-a~f, ウ-a ~f	〃
13	11/27	医療面接6	基本的な質問法, 病歴聴取	B-2-2)-①② ③⑥/必8- イ-a~f, ウ-a ~f	〃
14	12/11	医療面接7	支持と共感の技法	B-2-2)-①② ③⑥/必8- イ-a~f, ウ-a ~f	〃

●保存修復学

担当者: ①山田 嘉重 (修復), ②菊井 徹哉 (修復)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/11	保存修復学概論 MI概念	硬組織疾患および加齢変化に対する処置	E-3/総VII-11	②
2	4/11	歯の診査・診断 治療計画	歯の診査方法, 検査機器, 治療計画	E-3/各III-3	〃
3	4/11	総括	問題演習および解説		〃
4	4/25	歯髄障害・歯髄保護	硬組織の切削による歯髄障害の原因と対処法	E-3/各III-3	①
5	4/25	歯髄障害・歯髄保護	裏層法・覆髄法の目的, 種類および使用材料	E-3/各III-3	〃
6	4/25	修復補助法・仮封	修復補助器具と使用法, 仮封と材料	E-3/総XI-14	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
7	5/16	窩洞形成・印象採得	窩洞の具備条件, 窩洞形成法, 印象採得・材料	E-3/各III-3	②
8	5/16	齶蝕以外の硬組織疾患	咬耗, 磨耗, 酸蝕, 加齢変化等による高組織疾患	E-3/必-14	〃
9	5/16	総括	問題演習および解説		〃
10	5/30	齶蝕・齶蝕病巣	齶蝕の病因, 発症要因, エナメル質齶蝕の特徴	E-3/各III-2	①
11	5/30	齶蝕・齶蝕病巣	象牙質齶蝕, 根面齶蝕の特徴	E-3/各III-2	〃
12	5/30	齶蝕の処置	齶蝕病巣の病理, 齶蝕歯質の検知	E-3/各III-2	〃
13	6/13	歯冠修復に用いる補助器具	修復補助法と補助器具	E-3/必-15	②
14	6/13	硬組織切削器具	手用切削器具, 回転切削器具, その他の切削方法	E-3/必-15	〃
15	6/13	総括	問題演習および解説		〃
16	6/27	メタルインレー修復	メタルインレー修復の特徴	E-3/総XI-8	〃
17	6/27	メタルインレー修復	メタルインレー修復の臨床	E-3/総XI-8	〃
18	6/27	総括	問題演習および解説		〃
19	7/18	セメント修復	歯科用セメントの種類と特徴	E-3/総XI-8	①
20	7/18	セメント修復	従来型ガラスアイオノマーセメントの特徴	E-3/総XI-8	〃
21	7/18	セメント修復	レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの特徴	E-3/総XI-8	〃
22	8/22	象牙質知覚過敏症の処置	象牙質知覚過敏症の原因と処置法	E-3/各III-3	〃
23	8/22	変色歯の処置	歯の漂白法の種類と方法および使用薬剤	E-3/各III-2	〃
24	8/22	破折歯の処置	破折歯の原因, 診断および処置法	E-3/各III-3	〃
25	9/5	歯冠修復に用いる接着技術	各種接着面処置, 歯質接着材の種類, 特徴	E-3/総XI-13	②

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
26	9/5	補修修復	補修修復処置(金属, セラミックプライマー等)	E-3/総XI-13	②
27	9/5	総括	問題演習および解説		〃
28	9/19	コンポジットレジン修復	コンポジット系レジンとMMA系レジンの特徴	E-3/総XI-7	①
29	9/19	コンポジットレジン修復	コンポジットレジン修復に必要な歯面処理	E-3/総XI-7	〃
30	9/19	コンポジットレジン修復	コンポジットレジン修復の手順および必要器具	E-3/総XI-7	〃
31	10/3	審美的修復法	レジンインレーの特徴および窩洞の具備条件	E-3/各Ⅲ-2	〃
32	10/3	審美的修復法	セラミックインレーの特徴および窩洞の具備条件	E-3/各Ⅲ-2	〃
33	10/3	審美的修復法	ラミネートベニア修復の種類と処置法	E-3/各Ⅲ-2	〃
34	10/17	合着材	従来型歯科用セメントの種類と適応症	E-3/総XI-13	②
35	10/17	合着材	レジン系歯科用セメントの種類と適応症	E-3/総XI-13	〃
36	10/17	総括	問題演習および解説		〃
37	11/14	歯科用レーザー	歯科用レーザー装置の種類, 特徴, 適応症	E-3/総XI-2	〃
38	11/14	レーザー関連機器	レーザー関連機器の種類および使用法	E-3/総XI-2	〃
39	11/14	総括	問題演習および解説		〃
40	12/5	修復物の具備条件と術後管理	歯冠修復後に生じる問題への対応法	E-3/各Ⅲ-3	①
41	12/5	コンポジットレジン修復の復習	コンポジットレジンおよび前処理材の性質	E-3/総XI-7	〃
42	12/5	コンポジットレジン修復の復習	コンポジットレジン修復処置法の復習	E-3/総XI-7	〃

●歯内療法学

担当者: ①木村 裕一 (歯内), ②佐々木重夫 (歯内), ③佐藤 穂子 (歯内), ④長崎 慶太 (歯内)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1 2 3	4/18	硬組織疾患	総論, 歯・歯周組織の構造と機能, 硬組織疾患	〃必6-ウ, 必9-イ	①
4 5 6	5/9	診査法	歯内治療における基本術式の概要(診査・検査)	〃必10-イ, 総IX-1	②
7 8 9	5/23	歯髄疾患	歯髄疾患(原因から診断と治療)	〃必9-イ, 必10-ク	①
10 11 12	6/6	根尖性歯周組織疾患	根尖性歯周組織疾患(原因から診断と治療)	〃必9-イ, 必10-ク	〃
13 14 15	6/20	根管処置	根管処置(髄室開拓, 根管形成, 清掃, 消毒等)	〃各Ⅲ-6-オ	③
16 17 18	7/11	根管充填	根管充填(時期, 根管充填材の所用性質, 術式)	〃必15-マ, 総XI-7	②
19 20 21	7/25	臨床実地問題	歯髄疾患, 根尖性歯周組織疾患に関する臨床	〃各Ⅲ-6-ア~ク	③
22 23 24	8/29	根未完成歯と外傷歯	根未完成歯, 歯根の病的吸収, 外傷歯	〃各Ⅱ-5, 各Ⅲ-5	①
25 26 27	9/12	外科的歯内治療	外科的歯内治療と顕微鏡を応用した歯内治療	〃各Ⅲ-6-シ	〃
28 29 30	9/26	臨床実地問題	根未完成歯と外科的歯内治療に関する臨床	〃各Ⅲ-6-ケ~ス	〃
31 32 33	10/10	漂白, 歯内歯周疾患	漂白, 歯内歯周疾患, 高齢者の歯内治療	〃総7-ウ, 各Ⅲ-3	④
34 35 36	10/31	偶発症	根管処置後の歯冠修復と安全対策	〃各Ⅲ-6-セ, ソ	①
37 38 39	11/28	臨床実地問題	漂白, 歯内歯周疾患, 偶発症に関する臨床	〃各Ⅲ-3-キ	〃
40 41 42	12/12	臨床実地問題	歯内治療に関するすべての臨床	〃各Ⅲ-6-ア~タ	〃

●歯周病学

担当者：①高橋 慶壮（歯周）

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/17	歯周組織の解剖	歯周組織の解剖における基本的重要項目	E-3-1)-⑤/ 総IV4-カ, キ, ケ, コ	①
2	4/17	歯周診査	歯周病の診査方法	E-3-3)-(3)- ②/必11-エ c	〃
3	4/17	リスクファクター	歯周病に関わるリスクの考え方	E-3-2)-④/ 各Ⅲ-8エ	〃
4	5/8	宿主応答	歯周炎における宿主応答の特徴	C-4-4)/各 Ⅲ-8コ	〃
5	5/8	歯周医学	歯周医学の基本的重要項目	E-3/必6- アf	〃
6	5/8	歯周病の病因論	病因論の基本的重要項目	E-3/各Ⅲ-9 イ-8カ	〃
7	5/29	レントゲン写真の読影	レントゲン写真の読影方法	E-3/必10- オ, カ, ク	〃
8	5/29	口腔内写真の読み方	口腔内写真の読み取り方	E-3/必10- オ, カ, ク	〃
9	5/29	臨床データの読みとり方	歯周病の視診について	E-3/必11- エc, オ	〃
10	6/12	診査と診断	過去の必須問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/必10- ク	〃
11	6/12	歯周基本治療	歯周基本治療の基本的重要項目	E-3/必10- ク, 11-エ	〃
12	6/12	歯周基本治療	過去の必須問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/必10- ク, 11-エ	〃
13	6/26	歯周基本治療	歯周基本治療の基本的重要項目	E-3/必10- ク, 11-エ	〃
14	6/26	歯周基本治療	過去の必須問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/必10- ク, 11-エ	〃
15	6/26	歯周外科療法	歯周外科治療の基本的重要項目	E-3/各Ⅲ-9 イ, 9エ, 9オ	〃
16	7/10	歯周外科療法	歯周外科治療の基本的重要項目	E-3/各Ⅲ-9 イ, 9エ, 9オ	〃
17	7/10	歯周外科療法	過去の必須問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/各Ⅲ-9 イ, 9エ, 9オ	〃
18	7/10	歯周外科療法	過去の必須問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/各Ⅲ-9 イ, 9エ, 9オ	〃
19	8/21	臨床推論	臨床思考の技術の習得を図る。	/必11-エc, オ, キ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
20	8/21	臨床推論	臨床思考の技術の習得を図る。	/必11-エc, オ, キ	①
21	8/21	臨床推論	臨床思考の技術の習得を図る。	/必11-エc, オ, キ	〃
22	9/4	根分岐部病変	根分岐部病変における基本的重要項目	E-3/各Ⅲ-9 カ	〃
23	9/4	根分岐部病変	根分岐部病変における基本的重要項目	E-3/各Ⅲ-9 カ	〃
24	9/4	歯内—歯周複合病変	歯内—歯周複合病変における基本的重要項目	E-3/各Ⅲ-6 ケ, 8ケ	〃
25	9/25	歯周形成外科	遊離歯肉移植術	E-3/各Ⅲ-9 エ	〃
26	9/25	歯周形成外科	根面被覆	E-3/各Ⅲ-9 エ	〃
27	9/25	歯周形成外科	その他の術式	E-3/各Ⅲ-8 ク, 9エ	〃
28	10/16	SPT	SPTにおける基本的重要項目	(3)-②/各 Ⅲ-9ケ	〃
29	10/16	疫学	歯周病の疫学問題	B-4/総Ⅱ -10サ	〃
30	10/16	口臭	口臭における基本的重要項目	E-3/各Ⅰ-4 ア, イ, ウ	〃
31	10/30	必須および禁忌問題	歯周病学の必須問題 禁忌問題 歯科英語	E-3/総Ⅵ -11イ	〃
32	10/30	歯周疾患の分類	慢性歯周炎と侵襲性歯周炎の特徴と症状	各論Ⅲ-8	〃
33	10/30	歯周疾患の分類	特殊な歯周疾患(歯肉炎を含む)	各論Ⅲ-8	〃
34	11/13	歯周基本治療	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	各論Ⅲ-9イ	〃
35	11/13	歯周基本治療	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	各論Ⅲ-9イ	〃
36	11/13	歯周外科療法	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/各Ⅲ-9 イ, 9エ, 9オ	〃
37	11/27	歯周外科療法	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/各Ⅲ-9 イ, 9エ, 9オ	〃
38	11/27	歯周形成外科	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/各Ⅲ-9 エ	〃
39	11/27	歯周形成外科	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	E-3/各Ⅲ-8 ク, 9エ	〃
40	12/11	臨床問題の解き方	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	/必11-エc, オ, キ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
41	12/11	臨床問題の解き方	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	/ 必11-エc, オ, キ	①
42	12/11	臨床問題の解き方	過去の問題を解いて知識の定着を図る。	/ 必11-エc, オ, キ	〃

●冠橋義歯補綴学

担当者：①関根 秀志 (イン)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/19	医療事故の防止, 院内感染対策	医療者の安全管理, スタンダードブリーチン	A-5-2)②, 3)②/必4-イ-d, ウ-a	①
2	4/19	診療録, 医療記録	診療に関する記録	E-1-1)⑩/必5-ア-a	〃
3	4/19	口腔・顎顔面の構造・機能	口腔の機能, 頭部の筋, 顎関節の構造	E-2-1)⑤/必6-イ-b, d	〃
4	5/10	歯の喪失に伴う変化	歯の喪失に伴う変化	E-2-3)③/必7-エ-a, b	〃
5	5/10	口腔・顎・顔面の診察	下顎運動	E-2-1)⑥/必10-カ-e	〃
6	5/10	歯・歯周組織・口腔・顎等の検査	筋の検査	E-2-1)②/必11-エ-e	〃
7	5/24	歯・口腔・顎等の疾患と傷害の概念	不正咬合, ブラキシズム	E-4-1)③/必14-イ	〃
8	5/24	消毒・滅菌と感染対策	消毒・滅菌法	A-5-3)②/必15-ク-a	〃
9	5/24	歯質・歯の欠損による障害の治療	基本的術式	E-3-4)-(1)②/必15-ト-a	〃
10	6/7	印象採得	基本的術式	E-3-4)-(1)⑨/必15-ニ-a, マ-b	〃
11	6/7	合着・接着法	基本的術式	E-3-4)-(1)⑭/必15-ハ-a, マ-e	〃
12	6/7	口腔機能のリハビリテーション	機能の回復	E-3-4)-(1)①/必15-ヘ-a	〃
13	6/28	歯科材料①	印象材	E-3-4)-(1)⑨/必15-マ-b	〃
14	6/28	歯科材料②	合着, 硬化時膨張, 熱伝導係数	D-1②/必15-マ	〃
15	6/28	口腔・顎・顔面・頭頸部の機能	構音	E-2-2)⑦/総IV-3-コ	〃
16	7/19	口腔内検査・口腔機能検査	咀嚼機能検査	E-2-2)⑥/総IX-1-ス	〃
17	7/19	診療用器械	エアータービン	D-1④/総XI-2-イ	〃
18	7/19	切削具, 印象材, 歯科用ワックス	切削・研削工具, 印象材, ワックス	D-1①/総XI-3-ア, 4, 6	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
19	8/30	歯科用ワックス, 歯冠修復用材料	インレーワックス	D-1①/総XI-6-ア, 8-ア	①
20	8/30	セラミックスの成形技術・機器①	陶材の築盛・焼成陶材と金属の接合	D-2⑥/総XI-11-エ	〃
21	8/30	セラミックスの成形技術・機器②	CAD / CAM	D-2⑥/総XI-11-ア, イ	〃
22	9/13	金属の成形技術・機器①	鋳造工程	D-2⑥/総XI-12-ア	〃
23	9/13	金属の成形技術・機器②	ろう付け	D-2⑥/総XI-12-カ	〃
24	9/13	歯科接着技術・機器	エナメル質被着面処理	D-2⑦/総XI-13-ア	〃
25	9/27	病態, 診察・検査・診断・前処置	咬合・咀嚼障害ほか, 診察ほか	E-1-1)①/各V-1-ア〜ク, 2-ア〜カ	〃
26	9/27	補綴装置の要件, 冠橋義歯治療	生物学的要件ほか, 歯冠補綴装置の選択	E-3-4)-(1)①②/各V-3, 4-ア〜コ, 4-ア〜ソ	〃
27	9/27	管理	リコールほか	E-3-4)-(1)⑮/各V-10-ア〜ク	〃
28	10/11	支台歯形成	支台歯形成時の注意点, 基本的な支台歯形態	E-3-4)-(1)④/各V-4-ウ	〃
29	10/11	印象採得, 暫間補綴	精密印象材の所要性質と印象法, 暫間補綴	E-3-4)-(1)⑤⑨/各V-4-オ, カ	〃
30	10/11	顎間関係の記録, 口腔内情報の記録	顎間関係の記録法と使用材料, 口腔内情報の記録	E-3-4)-(1)⑨/各V-4-ク	〃
31	11/1	作業模型製作	作業模型の要件と種類および製法, 咬合器付着	E-3-4)-(1)⑦/各V-4-キ	〃
32	11/1	ろう型形成	インレーワックスの取り扱い法, ろう型形成法	E-3-4)-(1)⑭/各V-4-コ	〃
33	11/1	埋没・鋳造・熱処理・研磨	埋没材の種類と所要性質, 鋳造欠陥, 熱処理と研磨法	E-3-4)-(1)⑭/各V-4-サ, シ	〃
34	11/29	口腔内試適と装着	口腔内試適と調整の手順, 装着材の種類と特徴	E-3-4)-(1)⑭/各V-4-ス, セ	〃
35	11/29	術後管理	メンテナンスの重要性とその方法, リコール	E-3-4)-(1)⑮/各V-10-ア	〃
36	11/29	レジン前装冠	臨床的意義と適応症, レジンと金属の結合様式	E-3-4)-(1)①②/各V-4-ア	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
37	12/13	陶材焼付冠	臨床的意義と適応症, 陶材と金属の結合様式	E-3-4)-(1)①②/各V-4-ア	①
38	12/13	オールセラミック修復	特徴と種類, ラミネートベニア	E-3-4)-(1)①②/各V-4-ア	〃
39	12/13	CAD/CAM	CAD/CAM冠の特徴と種類, 製作法および適応症	E-3-4)-(1)①②/各V-4-ア	〃
40	12/27	ハイブリッド型コンポジットレジン修復	臨床的意義および適応症と種類, 製作法	E-3-4)-(1)①②/各V-4-ア	〃
41	12/27	支台築造	支台築造の臨床的意義と方法	E-3-4)-(1)③/各V-4-エ	〃
42	12/27	装着後に発生する問題とその対応	装着後に発生する問題点とその解決法	E-3-4)-(1)⑮/各V-10-ウ~カ	〃

●有床義歯補綴学

担当者: ①山森 徹雄 (有床), ②田中みか子 (非常勤)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/10	有床義歯治療の概要	有床義歯治療の流れ	E-3-4)/必15-ネ各V-5-ア~セ, 6-ア~シ	①
2	4/17	全部床義歯治療学1	診察・検査と前処置	E-3-4)/各V-2-ア, イ, ウ, カ	〃
3	4/24	全部床義歯治療学2	印象採得	E-3-4)/必15-ニ各V-6-イ, ウ	〃
4	5/8	全部床義歯治療学3	咬合採得	E-3-4)/必15-ヌ各V-6-エ	〃
5	5/15	全部床義歯治療学4	顔弓記録と咬合器調節	E-3-4)/総IX-1-ケ, コ各V-6-エ, オ	〃
6	5/29	全部床義歯治療学5	人工歯の選択と排列	E-3-4)/総IX-1-タ各V-6-カ, キ	〃
7	6/5	全部床義歯治療学6	リマウントと削合, 義歯装着	E-3-4)/各V-6-ク~シ	〃
8	6/19	全部床義歯治療学7	義歯装着後の管理と経過観察	E-3-4)/各V-6-サ, シ, 10-ア~キ	②
9	6/19	全部床義歯治療学8	その他の補綴装置	E-3-4)/各V-9-ア	①
10	6/26	全部床義歯治療学9	全部床義歯学解説1	E-3-4)/各V-5-ア~セ, 6-ア~シ	〃
11	7/3	全部床義歯治療学10	全部床義歯学解説2	E-3-4)/各V-5-ア~セ, 6-ア~シ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
12	7/10	部分床義歯治療学1	診察・検査と分類	E-3-4)/各V-2-ア~ウ	①
13	7/24	部分床義歯治療学2	前処置	E-3-4)/各V-2-カ	〃
14	8/21	部分床義歯治療学3	支持様式と印象採得	E-3-4)/各V-5-ア, イ, ウ	〃
15	8/28	部分床義歯治療学4	サベイングと設計	E-3-4)/各V-5-ア, カ	〃
16	9/4	部分床義歯治療学5	支台装置と連結装置	E-3-4)/各V-5-ア	〃
17	9/11	部分床義歯治療学6	フレームワークと蠟義歯試験	E-3-4)/各V-5-キ, ケ, コ	〃
18	9/25	部分床義歯治療学7	埋没・重合と義歯装着	E-3-4)/各V-10-ケ, コ, サ	〃
19	10/2	部分床義歯治療学8	義歯装着後の経過観察	E-3-4)/各V-10-ア~キ	〃
20	10/16	部分床義歯治療学9	特殊な義歯	E-3-4)/各V-7-ア, イ	〃
21	10/23	部分床義歯治療学10	部分床義歯学解説1	E-3-4)/各V-5-ア~セ, 6-ア~シ	〃
22	10/30	全部床義歯治療学11	顎堤に問題のある症例	E-3-4)/各V-10-ウ	〃
23	11/6	全部床義歯治療学12	顎堤の位置関係に問題のある症例	E-3-4)/各V-10-ウ	〃
24	11/13	全部床義歯治療学13	下顎運動に問題のある症例	E-3-4)/各V-10-エ	〃
25	11/20	全部床義歯治療学14	粘膜の疼痛	E-3-4)各V-10-ウ	②
26	11/27	部分床義歯治療学11	部分床義歯学解説1	E-3-4)/各V-5-ア~セ, 6-ア~シ	①
27	12/4	部分床義歯治療学12	部分床義歯学解説2	E-3-4)/各V-5-ア~セ, 6-ア~シ	②
28	12/11	有床義歯治療の総括	有床義歯治療学まとめ	E-3-4)/各V-5-ア~セ, 6-ア~シ	①

●口腔インプラント学

担当者: ①関根 秀志 (イン)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/12	口腔インプラント学総論1	オーバービュー: 口腔インプラント学の全容	E-3/各V-8	①
2	4/26	口腔インプラント学総論2	これだけは覚えておきたい基礎知識	E-3/各V-8	〃
3	5/17	必修対策1	インプラントに求められる医療面接技術	E-3/各V-8	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
4	5/31	必修対策 2	インプラントと天然歯の違いを理解する	E-3/各V-8	①
5	6/21	診察・検査・診断	リスクファクターと必須検査項目との関係	E-3/各V-8	〃
6	7/12	治療計画 1	補綴主導型治療の手順	E-3/各V-8	〃
7	8/23	治療計画 2	計画通りに施術するための工夫	E-3/各V-8	〃
8	9/6	外科処置 1	インプラント埋入手術：関連器材と使用順序	E-3/各V-8	〃
9	9/20	外科処置 2	インプラント外科にかかわる硬・軟組織管理	E-3/各V-8	〃
10	10/4	補綴処置 1	インプラント補綴装置の基本構造	E-3/各V-8	〃
11	10/18	補綴処置 2	上部構造の固定方法の特徴	E-3/各V-8	〃
12	11/15	補綴処置 3	インプラント印象方法	E-3/各V-8	〃
13	12/6	術後管理	口腔衛生と咬合の管理	E-3/各V-8	〃
14	12/20	術後のトラブル対策	外科処置にかかわる重篤な偶発症と対策	E-3/各V-8	〃

●口腔外科学/口腔内科学

担当者：①高田 訓 (外科)，②金 秀樹 (外科)，
③川原 一郎 (外科)，④菅野 勝也 (外科)，
⑤御代田 駿 (外科)，⑥山根 源之 (客員)，
⑦片倉 朗 (客員)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/6	口腔外科学1	先天異常発育異常	／必14-イ-h	①
2	4/6	口腔外科学2	先天異常発育異常	／必14-イ-h	〃
3	4/6	口腔外科学3	損傷	／必14-イ-i	⑤
4	4/13	口腔外科学4	損傷	／必14-イ-i	〃
5	4/13	口腔外科学5	炎症	／必14-イ-j	〃
6	4/13	口腔外科学6	炎症	／必14-イ-j	〃
7	4/20	口腔外科学7	嚢胞	／必14-イ-k	③
8	4/20	口腔外科学8	嚢胞	／必14-イ-k	〃
9	4/20	口腔外科学9	腫瘍腫瘍類似疾患	／必14-イ-l	〃
10	5/11	口腔内科学1	口腔内科学1	／必8~12	⑥
11	5/11	口腔内科学2	口腔内科学2	／必8~12	⑥
12	5/11	口腔内科学3	口腔内科学3	／必8~12	①
13	5/18	口腔外科学10	腫瘍腫瘍類似疾患	／必14-イ-l	③

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
14	5/18	口腔外科学11	顎関節疾患	／必14-イ-m	④
15	5/18	口腔外科学12	顎関節疾患	／必14-イ-m	〃
16	5/25	口腔外科学13	口腔粘膜疾患	／必14-イ-n	⑤
17	5/25	口腔外科学14	口腔粘膜疾患	／必14-イ-n	〃
18	5/25	口腔外科学15	唾液腺疾患	／必14-イ-o	③
19	6/1	口腔内科学4	口腔内科学4	／必8~12	⑥
20	6/1	口腔内科学5	口腔内科学5	／必8~12	〃
21	6/1	口腔内科学6	口腔内科学6	／必8~12	①
22	6/8	口腔外科学16	唾液腺疾患	／必14-イ-o	③
23	6/8	口腔外科学17	血液疾患出血性素因	／必14-イ-p	〃
24	6/8	口腔外科学18	血液疾患出血性素因	／必14-イ-p	〃
25	6/22	口腔外科学19	神経疾患	／必14-イ-r	④
26	6/22	口腔外科学20	神経疾患	／必14-イ-r	〃
27	6/22	口腔外科学21	手術基本手技	／総X-5	②
28	6/29	口腔内科学7	口腔内科学7	／必8~12	⑦
29	6/29	口腔内科学8	口腔内科学8	／必8~12	〃
30	6/29	口腔内科学9	口腔内科学9	／必8~12	①
31	7/6	口腔外科学22	手術基本手技	／総X-5	②
32	7/6	口腔外科学23	先天異常と変形を主徴とする疾患	／各IV-1-ア~ク	①
33	7/6	口腔外科学24	先天異常と変形を主徴とする疾患	／各IV-1-ア~ク	〃
34	7/13	口腔外科学25	軟組織の損傷	／各IV-2-ア~ウ	⑤
35	7/13	口腔外科学26	軟組織の損傷	／各IV-2-ア~ウ	〃
36	7/13	口腔外科学27	軟組織の炎症	／各IV-3-ア~ケ	②
37	7/20	口腔内科学10	口腔内科学10	／必8~12	⑥
38	7/20	口腔内科学11	口腔内科学11	／必8~12	〃
39	7/20	口腔内科学12	口腔内科学12	／必8~12	①
40	8/24	口腔外科学28	軟組織の炎症	／各IV-3-ア~ケ	②
41	8/24	口腔外科学29	軟組織に発生する嚢胞	／各IV-4-ア~ク	③
42	8/24	口腔外科学30	軟組織に発生する嚢胞	／各IV-4-ア~ク	〃
43	8/31	口腔外科学31	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	／各IV-5-ア~チ	②

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
44	8/31	口腔外科学 32	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	／各IV-5-ア～チ	②
45	8/31	口腔外科学 33	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	／各IV-5-ア～チ	〃
46	9/14	口腔内科学 13	口腔内科学 13	／必8～12	⑥
47	9/14	口腔内科学 14	口腔内科学 14	／必8～12	〃
48	9/14	口腔内科学 15	口腔内科学 15	／必8～12	①
49	9/21	口腔外科学 34	口腔粘膜疾患	／各IV-6-ア～リ	②
50	9/21	口腔外科学 35	口腔粘膜疾患	／各IV-6-ア～リ	〃
51	9/21	口腔外科学 36	口腔粘膜疾患	／各IV-6-ア～リ	〃
52	10/5	口腔外科学 37	顎顔面の変形を来す疾患・病態	／各IV-7-ア～オ	①
53	10/5	口腔外科学 38	顎顔面の変形を来す疾患・病態	／各IV-7-ア～オ	〃
54	10/5	口腔外科学 39	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷	／各IV-8-ア～サ	⑤
55	10/12	口腔内科学 16	口腔内科学 16	／必8～12	⑦
56	10/12	口腔内科学 17	口腔内科学 17	／必8～12	〃
57	10/12	口腔内科学 18	口腔内科学 18	／必8～12	①
58	10/19	口腔外科学 40	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷	／各IV-8-ア～サ	⑤
59	10/19	口腔外科学 41	歯槽骨・顎骨の炎症	／各IV-9-ア～サ	②
60	10/19	口腔外科学 42	歯槽骨・顎骨の炎症	／各IV-9-ア～サ	〃
61	10/26	口腔外科学 43	顎骨に発生する嚢胞	／各IV-10-ア～サ	③
62	10/26	口腔外科学 44	顎骨に発生する嚢胞	／各IV-10-ア～サ	〃
63	10/26	口腔外科学 45	顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	／各IV-11-ア～コ	②
64	11/2	口腔内科学 19	口腔内科学 19	／必8～12	⑥
65	11/2	口腔内科学 20	口腔内科学 20	／必8～12	〃
66	11/2	口腔内科学 21	口腔内科学 21	／必8～12	〃
67	11/9	口腔外科学 46	顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	／各IV-11-ア～コ	②

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
68	11/9	口腔外科学 47	顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	／各IV-11-ア～コ	②
69	11/9	口腔外科学 48	唾液腺疾患	／各IV-12-ア～テ	④
70	11/16	口腔外科学 49	唾液腺疾患	／各IV-12-ア～テ	〃
71	11/16	口腔外科学 50	神経疾患	／各IV-13-ア～セ	①
72	11/16	口腔外科学 51	神経疾患	／各IV-13-ア～セ	〃
73	11/30	口腔内科学 22	口腔内科学 22	／必8～12	⑥
74	11/30	口腔内科学 23	口腔内科学 23	／必8～12	〃
75	11/30	口腔内科学 24	口腔内科学 24	／必8～12	⑤
76	12/14	口腔外科学 52	神経疾患	／各IV-13-ア～セ	①
77	12/14	口腔外科学 53	顎関節疾患	／各IV-14-ア～ス	④
78	12/14	口腔外科学 54	顎関節疾患	／各IV-14-ア～ス	〃
79	12/21	口腔外科学 55	口腔・顎顔面に異常を来す骨系統疾患・症候群	／各IV-15-ア～ヌ	〃
80	12/21	口腔外科学 56	口腔・顎顔面に異常を来す骨系統疾患・症候群	／各IV-15-ア～ヌ	〃
81	12/21	口腔外科学 57	口腔・顎顔面に異常を来す骨系統疾患・症候群	／各IV-15-ア～ヌ	〃
82	12/28	口腔外科学 58	口腔症状を呈する疾患	／各IV-16-ア～ク	③
83	12/28	口腔外科学 59	口腔症状を呈する疾患	／各IV-16-ア～ク	〃
84	12/28	口腔外科学 60	口腔症状を呈する疾患	／各IV-16-ア～ク	〃

●歯科麻酔学

担当者：①山崎 信也（麻酔）

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/10	臨床に必要な生理1	循環生理	／総Ⅲ-2-ウ	①
2	4/10	臨床に必要な生理1	循環生理	／総Ⅲ-2-ウ	〃
3	4/10	臨床に必要な生理1	循環生理	／総Ⅲ-2-ウ	〃
4	4/24	臨床に必要な生理2	呼吸生理	／総Ⅲ-2-エ	〃
5	4/24	臨床に必要な生理2	呼吸生理	／総Ⅲ-2-エ	〃
6	4/24	臨床に必要な生理2	呼吸生理	／総Ⅲ-2-エ	〃
7	5/15	臨床に必要な生理3	代謝内分泌生理	／総Ⅲ-2-キ,ケ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
8	5/15	臨床に必要な生理3	小児の生理	／総X-2	①
9	5/15	臨床に必要な生理3	高齢者/妊婦の生理	／総X-2	〃
10	6/5	局所麻酔	局所麻酔, 痛覚伝導路	／総X-6	〃
11	6/5	ペインクリニック	痛みの分類	／各VI-13	〃
12	6/5	ペインクリニック	代表的な疼痛疾患, 痙攣	／各VI-13	〃
13	6/12	全身麻酔	全身麻酔	／必-15-コ	〃
14	6/12	全身麻酔	全身麻酔	／総X-6	〃
15	6/19	精神鎮静法	精神鎮静法	／総X-6	〃
16	7/3	周術期管理	検査, 術前評価	／総IX	〃
17	7/3	周術期管理	前投薬, 術前管理	／総X-4	〃
18	7/3	周術期管理	術中管理, 術後管理	／総X-6-ウ, ク	〃
19	7/24	全身的偶発症1	神経性ショック	／必-15-ホ	〃
20	7/24	全身的偶発症1	過換気症候群, 高血圧緊急症	／総X-4-エ	〃
21	7/24	全身的偶発症1	アナフィラキシーショック	／総X-6-コ	〃
22	8/28	全身的偶発症2	局所麻酔中毒, メトヘモグロビン血症	／必-15-ホ	〃
23	8/28	全身的偶発症2	仰臥位低血圧	／総X-4-エ	〃
24	8/28	全身的偶発症2	虚血性心疾患, 脳卒中	／総X-6-コ	〃
25	9/11	全身的偶発症3	代謝内分泌疾患	／必-15-ホ	〃
26	9/11	全身的偶発症3	糖尿病	／総X-4-エ	〃
27	9/11	全身的偶発症3	肝, 腎疾患	／総X-6-コ	〃
28	10/2	全身的偶発症4	心電図と不整脈	／必-15-ホ	〃
29	10/2	全身的偶発症4	心電図と不整脈	／総X-4-エ	〃
30	10/2	全身的偶発症4	心電図と不整脈	／総X-6-コ	〃
31	10/23	器具, 英語	麻酔救急器具, 麻酔英語問題	／総III-2	〃
32	10/23	歴史	麻酔歴史	／必-15-ホ 総IX	〃
33	10/23	計算問題	麻酔計算問題	／総X-4, 6	〃
34	11/6	救急処置	一次救命処置	／必-13-イ	〃
35	11/6	救急処置	窒息の解除	／総X-3	〃
36	11/6	救急処置	二次救命処置	／総X-3	〃
37	11/20	まとめ予備	歯科麻酔のまとめ予備	／必-15-ホ 総III-2	〃
38	11/20	まとめ予備	歯科麻酔のまとめ予備	／必-15-ホ 総IX	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
39	11/20	まとめ予備	歯科麻酔のまとめ予備	／必-15-ホ 総X-4, 6	①
40	12/4	まとめ予備	歯科麻酔のまとめ予備	／必-15-ホ 総III-2	〃
41	12/4	まとめ予備	歯科麻酔のまとめ予備	／必-15-ホ 総IX	〃
42	12/4	まとめ予備	歯科麻酔のまとめ予備	／必-15-ホ 総X-4, 6	〃

●歯科矯正学

担当者：①福井 和徳 (矯正), ②板橋 仁 (矯正),
③川鍋 仁 (矯正), ④竜 立雄 (矯正)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/14	診査, 検査, 診断①	診査, 検査法, 分析, 資料の総合的評価を説明する。	E-4-1)①④ ／各II-8	①
2	5/12	診査, 検査, 診断②	診断, 治療方針の立案に至る過程を説明する。	E-4-1)①④ ／各II-8	〃
3	6/2	成長発育	発生と成長発育について説明する。	E-2-3)③④ ／総V-4	②
4	6/16	口蓋裂, 顎機能異常, 顎変形症	口蓋裂・顎変形症について説明する。	E-2-4)-(1) ／各II-1-ア, 11-エ	③
5	6/30	歯科矯正用材料・器具	矯正歯科治療に使用される材料, 器具について説明する。	E-4-1)⑤/ 総XI-15	〃
6	7/14	矯正装置	矯正装置について説明する。	E-4-1)⑥⑦ ／各II-10	①
7	7/28	歯の移動と組織変化	矯正歯科治療にて生じる生体反応について説明する。	E-4-1)⑦⑧ ／各II-9-ア～ウ	④
8	9/1	上顎前突の治療	上顎前突の治療を実際の症例を通じて理解する。	E-4-1)④/ 各II-11-ア, イ	②
9	9/22	叢生の治療	叢生の治療を実際の症例を通じて理解する。	E-4-1)④/ 各II-11-ア, イ	③
10	10/13	反対咬合の治療	反対咬合の治療を実際の症例を通じて理解する。	E-4-1)④/ 各II-11-ア, イ	④
11	10/27	開咬の治療	開咬の治療を実際の症例を通じて理解する。	E-4-1)④/ 各II-11-ア, イ	〃
12	11/17	保定・全身疾患	保定及び全身疾患について説明する。	E-4-1)②⑨ ／各II-11-キ, ク, IV-7	③
13	12/1	総まとめ①	重要箇所への復習1	E-4-1)／各II-7～11	①

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
14	12/22	総まとめ②	重要箇所の復習2	E-4-1) / 各II-7~11	①

●小児歯科学

担当者：①島村 和宏 (小児)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/12	小児の成長・発達	人体の発生・成長・発達 発育区分 原則 特徴	／必-7	①
2	4/12	小児の成長・発達	成長評価、反射、運動・言語情緒・社会性の発達	／総V-1, 2	〃
3	4/12	小児の成長・発達	成長評価、反射、運動・言語情緒・社会性の発達	／必-7, 総V-1, 2, VIII-2	〃
4	4/26	頭蓋顎顔面の発育口腔機能発達	頭蓋顔面頭蓋の成長、咀嚼嚥下・顎関節機能の発達	／必-7, 総IV-3, V-3, 4, 5	〃
5	4/26	歯の形成と萌出	歯の形成・萌出、歯列・咬合の成長発育	／必-7, 総V-3, 4, VII-2	〃
6	4/26	歯の形成と萌出	乳歯・幼若永久歯の特徴、歯・歯列・萌出異常	／必-7, 総V-3, 4, VII-2	〃
7	5/17	歯列・咬合の発育と異常	歯列、咬合の定義・発育歯列咬合の発育変化	／必-7, 総V-4	〃
8	5/17	歯列・咬合の発育と異常	歯列咬合の発育変化・異常	／必-7-イ-a 総V-4-ウ	〃
9	5/17	歯列・咬合の発育と異常	歯列咬合の発育変化・異常	／必-7-イ-a 総V-4-ウ	〃
10	5/31	乳歯・幼若永久歯・歯周組織	乳歯の形態的・組織学的特徴	／必-6, 総IV-4	〃
11	5/31	乳歯・幼若永久歯・歯周組織	幼若永久歯・歯周組織の特徴	E-4/必-6, 総IV-4	〃
12	5/31	歯科的対応 疼痛コントロール	疼痛のコントロール	／必-15, 総VIII-2, X-9	〃
13	6/21	歯科的対応	小児の心理・対応の実際	／必-10, 総VIII-2, X-6-ウ, エ, ケ	〃
14	6/21	歯科的対応	対応の実際、基本的な診察・管理	／必-15, 総VIII-1, 2, X-2	〃
15	6/21	歯科的対応	対応の実際、基本的な診察・管理	／必-15, 総VIII-1, X-6	〃
16	7/12	小児の診療の流れ	小児患者の診察・検査・診断	／必-11, 総IX-1	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
17	7/12	小児の診療の流れ	小児患者の診察・検査・診断	／必-11, 総IX-1	①
18	7/12	う蝕治療の準備	治療の前処置・麻酔・偶発症	／必-15, 総X-3, X-6	〃
19	8/23	小児期の齲蝕①	齲蝕の疫学、特徴と分類、好発時期	／必-9, 各I-1	〃
20	8/23	小児期の齲蝕②	齲蝕の疫学、特徴と分類、好発時期	／必-9, 各I-1	〃
21	8/23	小児期の齲蝕③	齲蝕予防	／必-3, 12, 各I-1	〃
22	9/6	乳歯・幼若永久歯の歯冠修復①	歯の硬組織疾患の治療	／各III-3	〃
23	9/6	乳歯・幼若永久歯の歯冠修復②	歯の硬組織疾患の治療	／各III-3	〃
24	9/6	乳歯・幼若永久歯の歯冠修復③	歯の硬組織疾患の治療	／各III-3	〃
25	9/20	乳歯・幼若永久歯の歯内療法①	歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療	／必-10~15, 総VII, IX1, XI7, 各III6	〃
26	9/20	乳歯・幼若永久歯の歯内療法②	歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療	／必-10~15, 総VII, IX1, XI7, 各III6	〃
27	9/20	乳歯・幼若永久歯の歯内療法③	歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療	／必-10~15, 総VII, IX1, XI7, 各III6	〃
28	10/4	外科的処置①	小児の麻酔、抜歯、軟組織疾患	／総X-5, 6, 各IV-12-セ	〃
29	10/4	外科的処置②	小児の麻酔、抜歯、軟組織疾患	／総X-5, 6, 各IV-12-セ	〃
30	10/4	外科的処置③	歯の外傷	／各II-5, III-6	〃
31	10/18	咬合誘導①	保険、動的咬合誘導	／各II-6	〃
32	10/18	咬合誘導②	保険、動的咬合誘導	／各II-6	〃
33	10/18	先天異常・小児疾患①	先天異常・骨系統疾患・症候群	各II-1, IV-15, 17	〃
34	11/15	先天異常・小児疾患②	先天異常・骨系統疾患・症候群	各II-1, IV-15, 17	〃
35	11/15	障害児の歯科診療①	障害者への対応	／総VIII-3, X-2	〃
36	11/15	障害児の歯科診療②	障害者への対応	／総VIII-3, X-2	〃
37	12/6	模試・卒試解説	模試・卒試解説		〃
38	12/6	模試・卒試解説	模試・卒試解説		〃
39	12/6	模試・卒試解説	模試・卒試解説		〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
40	12/20	模試/卒試解説・まとめ	模試/卒試解説 まとめ		①
41	12/20	模試/卒試解説・まとめ	模試/卒試解説 まとめ		〃
42	12/20	模試/卒試解説・まとめ	模試/卒試解説 まとめ		〃

●高齢者歯科学

担当者：①鈴木 史彦 (麻醉), ②糸瀬 正通 (客員)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/7	高齢者の特徴1	身体的特徴・心理的特徴	E-4-3)/総 VIII-5-ア, イ	①
2	4/7	口腔の加齢変化1	加齢に伴う顎・口腔および嚥下機能の変化	E-4-3)/必 7-ウ, エ	〃
3	4/7	嚥下モデル・嚥下障害1	5期モデルと摂食・嚥下各期の障害, 合併症	E-4-3)/総 IV-3-カ	〃
4	4/21	脳血管障害・Parkinson病1	分類, 球麻痺と仮性球麻痺, 高次脳機能障害	E-4-3)/必 15-ホ	〃
5	4/21	認知症1	分類, 中核症状と周辺症状, 検査法, 対応	E-4-3)/必 15-ホ	〃
6	4/21	スクリーニングテスト1	RSST, MWST, FT, 頸部聴診	E-4-3)/各 VI-16-ア	〃
7	5/19	VE, VF1	嚥下内視鏡検査, 嚥下造影	E-4-3)/各 VI-16-ア	〃
8	5/19	間接訓練1	先行期～食道期の間接訓練	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃
9	5/19	直接訓練1	直接訓練, 段階的摂食訓練	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃
10	6/9	チーム医療・ICF1	チーム医療, 多職種協働, アプローチ法	E-4-3)/必 16-ア～オ	〃
11	6/9	嚥下補助床1	PAP, PLP	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃
12	6/9	栄養管理・食事指導1	MNA, SGA, ODA, 食事指導	E-4-3)/各 VI-17-ア～オ	〃
13	6/23	訪問診療・口腔ケア1	訪問診療, 器質的口腔ケア, 機能的口腔ケア	E-4-3)/総 I-4-コ	〃
14	6/23	高齢者の特徴2	身体的特徴・心理的特徴	E-4-3)/総 VIII-5-ア, イ	〃
15	6/23	口腔の加齢変化2	加齢に伴う顎・口腔および嚥下機能の変化	E-4-3)/必 7-ウ, エ	〃
16	7/7	嚥下モデル・嚥下障害2	5期モデルと摂食・嚥下各期の障害, 合併症	E-4-3)/総 IV-3-カ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
17	7/7	脳血管障害・Parkinson病2	分類, 球麻痺と仮性球麻痺, 高次脳機能障害	E-4-3)/必 15-ホ	①
18	7/7	認知症2	分類, 中核症状と周辺症状, 検査法, 対応	E-4-3)/必 15-ホ	〃
19	7/21	スクリーニングテスト2	RSST, MWST, FT, 頸部聴診	E-4-3)/各 VI-16-ア	〃
20	7/21	VE, VF2	嚥下内視鏡検査, 嚥下造影	E-4-3)/各 VI-16-ア	〃
21	7/21	間接訓練2	先行期～食道期の間接訓練	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃
22	8/25	直接訓練2	直接訓練, 段階的摂食訓練	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃
23	8/25	チーム医療・ICF2	チーム医療, 多職種協働, アプローチ法	E-4-3)/必 16-ア～オ	〃
24	8/25	嚥下補助床2	PAP, PLP	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃
25	9/15	栄養管理・食事指導2	MNA, SGA, ODA, 食事指導	E-4-3)/各 VI-17-ア～オ	〃
26	9/15	訪問診療・口腔ケア2	訪問診療, 器質的口腔ケア, 機能的口腔ケア	E-4-3)/総 I-4-コ	〃
27	9/15	高齢者の特徴3	身体的特徴・心理的特徴	E-4-3)/総 VIII-5-ア, イ	〃
28	10/6	口腔の加齢変化3	加齢に伴う顎・口腔および嚥下機能の変化	E-4-3)/必 7-ウ, エ	〃
29	10/6	嚥下モデル・嚥下障害3	5期モデルと摂食・嚥下各期の障害, 合併症	E-4-3)/総 IV-3-カ	〃
30	10/6	脳血管障害・Parkinson病3	分類, 球麻痺と仮性球麻痺, 高次脳機能障害	E-4-3)/必 15-ホ	〃
31	10/20	臨床歯科学	臨床歯科全般	E-1～E-4/各 I～VI	②
32	10/20	臨床歯科学	臨床歯科全般	E-1～E-4/各 I～VI	〃
33	10/20	高齢者歯科	高齢者歯科全般	E-4-3)/各 VI-16-ア, イ	①
34	11/10	認知症3	分類, 中核症状と周辺症状, 検査法, 対応	E-4-3)/必 15-ホ	〃
35	11/10	スクリーニングテスト3	RSST, MWST, FT, 頸部聴診	E-4-3)/各 VI-16-ア	〃
36	11/10	VE, VF3	嚥下内視鏡検査, 嚥下造影	E-4-3)/各 VI-16-ア	〃
37	11/24	間接訓練3	先行期～食道期の間接訓練	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃
38	11/24	直接訓練3	直接訓練, 段階的摂食訓練	E-4-3)/各 VI-16-イ	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
39	11/24	チーム医療・ICF3	チーム医療, 多職種協働, アプローチ法	E-4-3) / 必16-ア~オ	①
40	12/15	嚥下補助床3	PAP, PLP	E-4-3) / 各VI-16-イ	〃
41	12/15	栄養管理・食事指導3	MNA, SGA, ODA, 食事指導	E-4-3) / 各VI-17-ア~オ	〃
42	12/15	訪問診療・口腔ケア3	訪問診療, 器質的口腔ケア, 機能的口腔ケア	E-4-3) / 総I-4-コ	〃

●障害者歯科学

担当者：①佐々木重夫（歯内）

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/19	スペシャルニーズ(SN)の捉え方	ノーマライゼーション, バリアフリー	E-4/必2, 総VIII-3	①
2	5/10	スペシャルニーズと社会保障	医療制度, チーム医療	E-4/総II-8, 総VIII-6	〃
3	5/24	精神・心理的発達と行動の障害	発達遅滞, 精神遅滞, 自閉性障害(自閉症)	E-4/総VIII-2, 3	〃
4	6/7	精神・心理的発達と行動の障害	注意欠陥多動性障害, 学習障害	E-4/総VIII-2	〃
5	6/28	神経・運動障害	脳性麻痺, 筋ジストロフィー, 脊髄損傷, 関節リウマチ	E-4/総VIII-3	〃
6	7/19	神経・運動障害, 感覚障害	Parkinson病, 脳血管障害, 視覚・聴覚障害	E-4/各IV-17	〃
7	8/30	精神および行動の障害	統合失調症, うつ病, 神経症, 認知症, 摂食障害	E-4/各IV-17	〃
8	9/13	歯科治療時に配慮すべき疾患1	てんかん, 内科的疾患	E-4/各IV-17	〃
9	9/27	歯科治療時に配慮すべき疾患2	症候群	E-1/各II-1	〃
10	10/11	歯科治療時に配慮すべき疾患3	症候群, 難病	E-1/各II-1	〃
11	11/1	行動調整	コミュニケーション法, 行動療法, 薬物的行動調整	E-4/各IV-19	〃
12	11/29	SNのある人の歯科治療1	歯髄処置, 歯周治療	E-4/総X-2	〃
13	12/13	SNのある人の歯科治療2	歯冠修復の特徴, 補綴的対応	E-4/総X-2	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
14	12/27	リスク評価と安全管理	リスク評価, 安全管理, 医療安全管理体制	A-5/総X-6, 必-4	①

●歯科放射線学

担当者：①原田 卓哉（放射）

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/11	画像検査装置の取り扱い	エックス線撮影装置	E-1-2) / 必15-キ	①
2	4/11	検査の基本1	口内法, パノラマ, CT	E-1-2) / 必11-オ	〃
3	4/25	検査の基本2	MRI, 超音波, 核医学	E-1-2) / 必11-オ	〃
4	4/25	安全管理	患者の安全管理(被曝), 医療者の安全管理(被曝)	E-1-2) / 必4-イ	〃
5	5/16	放射線の影響1	確率的影響, 確定的影響	E-1-2) / 必14-ア	〃
6	5/16	放射線の影響2	放射線治療による後障害	E-1-2) / 必14-イ	〃
7	5/30	放射線物理	放射線の種類, 単位, 測定, 放射線同位元素	E-1-2) / 総IX-2	〃
8	5/30	画像形成	現像, 画質を構成する因子	E-1-2) / 総IX-2	〃
9	6/13	エックス線装置器材	エックス線撮影装置, ヘッド, フィルム	E-1-2) / 総IX-2	〃
10	6/13	デジタル・情報システム	デジタル画像の特徴, CCDセンサー, イメージングプレート, フラットパネル, DICOM PACS, 放射線情報システム, 病院情報システム	E-1-2) / 総IX-2	〃
11	6/27	放射線生物学・放射線治療	放射線の影響, 放射線感受性, 外部照射, a照射, 照射後障害	E-1-2) / 総IX-2, 総X-8	〃
12	6/27	防護・法的規制	正当化, 最適化, 線量制限, 医療被曝, 職業被曝, 公衆被曝, 医療法施行規則	E-1-2) / 総IX-2	〃
13	7/18	画像検査1	口内法, 口外法, CT	E-1-2) / 総IX-2	〃
14	7/18	画像検査2	MRI, 超音波, 核医学, IVR	E-1-2) / 総IX-2, 総X-10	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
15	8/22	画像診断 1	歯および歯周疾患, 嚢胞	E-3-2), E-2-4) / 各 III-2, III-5, III-8, IV-4, IV-10	①
16	8/22	画像診断 2	顎骨の炎症, 上顎洞炎, 頸部軟組織の炎症	E-2-4) / 各 IV-3, IV-9	〃
17	9/5	画像診断 3	良性腫瘍, 悪性腫瘍	E-2-4) / 各 IV-5, IV-11	〃
18	9/5	画像診断 4	腫瘍類似疾患, 口腔に症状を表す全身疾患	E-2-4) / 各 IV-5, IV-11	〃
19	9/19	問題演習 1	放射線物理, 装置, 画像形成原理	E-1-2) / 総 IX-2	〃
20	9/19	問題演習 2	デジタル画像システム, 医療情報システム	E-1-2) / 総 IX-2	〃
21	10/3	問題演習 3	口内法, 口外法, CT, コーンビームCT	E-1-2) / 総 IX-2	〃
22	10/3	問題演習 4	MRI, 超音波, 核医学, IVR, 造影, 内視鏡	E-1-2) / 総 IX-2	〃
23	10/17	問題演習 5	放射線の影響, 防護, 管理	E-1-2) / 総 IX-2	〃
24	10/17	問題演習 6	放射線治療, 術前術後管理	E-1-2) / 総 X-8	〃
25	11/14	問題演習 7	歯および歯周疾患, 嚢胞	E-3-2), E-2-4) / 各 III-2, III-5, III-8, IV-4, IV-10	〃
26	11/14	問題演習 8	顎骨の炎症, 上顎洞炎, 頸部軟組織の炎症	E-2-4) / 各 IV-3, IV-9	〃
27	12/5	問題演習 9	良性腫瘍, 悪性腫瘍	E-2-4) / 各 IV-5, IV-11	〃
28	12/5	問題演習 10	腫瘍類似疾患, 口腔に症状を表す全身疾患	E-2-4) / 各 IV-5, IV-11	〃

●歯科医療管理学 / 歯学史 / 歯科英語

担当者: ①瀬川 洋 (衛生), ②大橋 明石 (衛生), ③山崎 信也 (麻酔)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/10	歯科英語 (一般的事項)	歯科医療に関わる医学・歯学英语の基礎知識	A-6-1) / 必-17-ウ	③
2	4/24	歯学史 1	世界の歯学史	A-6-1) / 必-17-ア	①
3	5/15	歯学史 2	日本の歯学史	A-6-1) / 必-17-ア	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
4	6/5	歯学史 3	ノーベル賞と医学・生物学関連事項	A-6-1) / 必-17-ア	①
5	6/19	歯科医療の法的性格	歯科医療の法的意義と関連法	A-3-①②④ / 総-I-3)	〃
6	7/3	歯科医療における安全管理	医療法と医療安全, 医療機関における安全管理	A-5-1) / 必-2-ウ	〃
7	7/24	医療事故防止	医療危機管理, 医療過誤, 医療事故防止	A-5-2) / 必-4-イ	〃
8	8/28	医療裁判	医事紛争の原因と防止, 解決	A-5-2) / 必-4-エ	〃
9	9/11	社会保障制度	社会保障制度, 医療保険, 国民医療費	B-2-2) / 総-I-6	②
10	10/2	診療情報リテラシー	診療録, 診療情報, 診断書, SORP	B-4-3) / 必-5-ア, イ	〃
11	10/23	禁煙指導・食育	禁煙指導・支援, 食育・食の支援	E-1-6) / 必-3-ク	①
12	11/6	歯科診療所の開設	歯科診療所の開設	B-2-2) / 総-I-3	②
13	11/20	医療の質の確保	患者満足度, 診療録開示, クリニカルパス	A-3-① / 必-4-ア	〃
14	12/4	医療連携	医療連携, チーム歯科医療	A-7-3) / 総-I-3	①

●法歯学

担当者: ①花岡 洋一 (法歯), ②板橋 仁 (矯正), ③小林 克男 (非常勤)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/18	社会と歯科医療1	社会における歯科医の役割	必2-ウ	①
2	5/9	社会と歯科医療2	大規模災害時における歯科医の役割	B-2, F-5 / 総 I -5, 4	〃
3	5/23	社会と歯科医療3	災害時歯科医療	B-2, E-4 / 総 I -4	① ②
4	6/6	歯科的個人識別1	歯から何がわかるのか	／総 I -5, V -1, V-6	①
5	6/20	歯科的個人識別2	性別判定	／総 I -5, V -1, V-6	〃
6	7/11	歯科的個人識別3	年齢推定	／総 I -5, V -1, V-6	〃
7	7/25	歯科的個人識別	血液型	／必11-ウ / 総 I -5, V-1, V-6	〃
8	8/29	社会と歯科医療4	警察歯科医の役割1	B-2, B-2 / 総 I -5	① ③
9	9/12	社会と歯科医療5	警察歯科医の役割2	B-2, B-2 / 総 I -5	〃

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
10	9/26	法医学1	物体検査, 創傷	E-4/必15-サ, 総VI-3	①
11	10/10	法医学2	死因究明制度, 死体解剖	/総 I-5, VI-13	〃
12	10/31	法医学3	死後変化	/総 I-5	〃
13	11/28	法医学4	虐待防止	/総 II-2	〃
14	12/12	総括	国家試験に向けてのまとめ		〃

●総合臨床医学

担当者：①馬場 優 (医学)

	月日	タイトル	授業内容	コ/国	担
1	4/6	総論1	内科学総論	E-4-6/総VII-1-ア	①
2	4/20	総論2	腫瘍学総論	E-4-6/総VI-7-ア～ケ	〃
3	5/25	循環器	循環器疾患	E-4-6/必-9-ア, 14-ア, 15-ホ	〃
4	6/1	呼吸器	呼吸器疾患	E-4-6/必-9-ア, 15-ホ	〃
5	6/22	消化器	消化器疾患	E-4-6/必-9-ア, 15-ホ	〃
6	7/6	肝臓・腎臓	肝臓疾患・腎臓疾患	E-4-6/必-9-ア, 15-ホ	〃
7	7/20	アレルギー・膠原病	アレルギー疾患・膠原病	E-4-6/必-9-ア, 15-ホ	〃
8	8/31	内分泌	内分泌疾患	E-4-6/必-9-ア, 15-ホ	〃
9	9/21	糖尿病	糖尿病	E-4-6/必-9-ア, 15-ホ	〃
10	10/12	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科疾患	E-4-6/総III-2-ク	〃
11	10/26	頭頸部外科	頭頸部疾患	E-4-6/総III-2-ク	〃
12	11/9	血液疾患	血液疾患	E-4-6/各IV-17	〃
13	11/30	誤飲・誤嚥	歯科治療中に起こる誤飲・誤嚥事故	E-4-6/各IV-18-キ	〃
14	12/21	感染症・膿瘍	菌性感染症による深頸部膿瘍・縦隔炎	E-4-6/各IV-3-キ	〃

